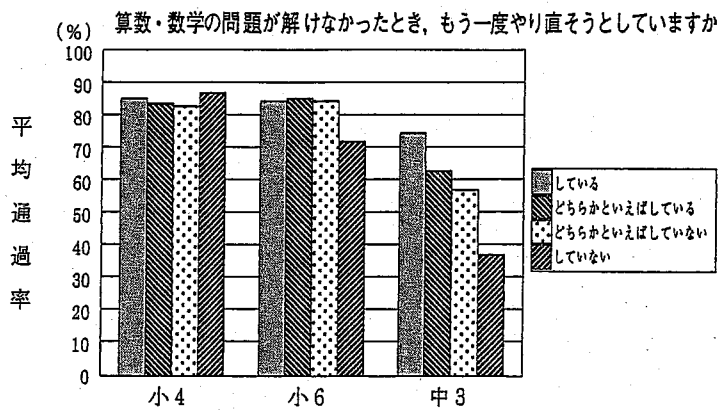


(3) 意識調査と教科の通過率との関係

中3では、問題が解けなかったとき、もう一度やり直そうとしている生徒は、数学の基礎学力が高い傾向にある。



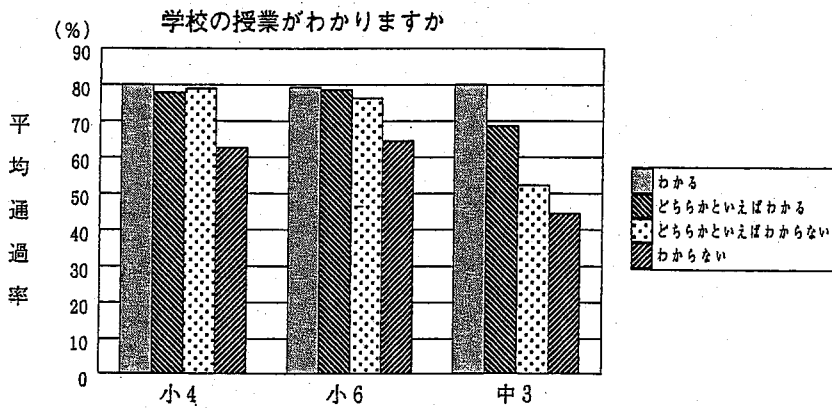
【考察】

中3では、問題が解けなかったとき、もう一度やり直そうとする生徒は基礎学力が高い傾向にある。また、小6でもその傾向がみられる。

個々の解けなかった問題を再度やり直す機会を設け、適切な補充指導を行うことが大切である。その際、児童生徒がやり直したことを見届けることが必要である。繰り返し学習

することによって学力が向上したことを児童生徒自身に実感させ、自らやり直しをしようとする意欲と態度を育てたい。

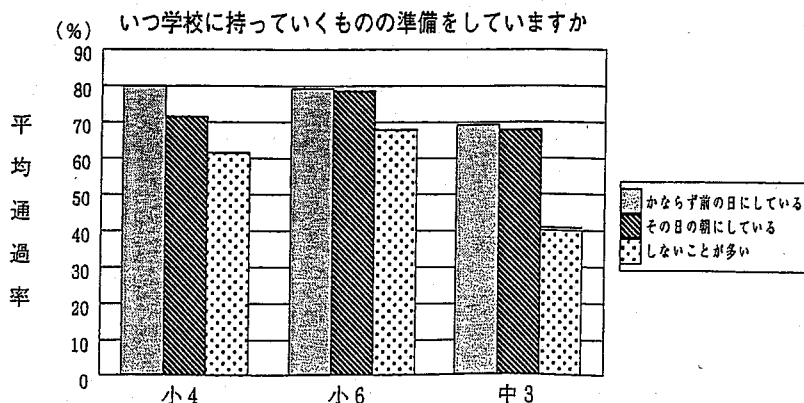
学校の授業がわかるという児童生徒の基礎学力は高い傾向にある。



【考察】

学校の授業がわかるという児童生徒の基礎学力は高い傾向にあることから、当然のことではあるが、授業を改善していくことの重要性が分かる。今後、一層わかる授業づくりを目指して努力することが大切である。

学校に持って行くものを前日もしくは当日の朝、準備している児童生徒の基礎学力は、高い傾向にある。



【考察】

学習の準備について前日もしくは当日の朝、準備をしていると答えた児童生徒の基礎学力は高い傾向にある。基本的な生活習慣の定着と基礎学力との関係を考えさせられる結果である。保護者と連携し、計画的に学習の準備をする習慣化に努めることが大切である。